やいた応援
かわら版

第１１号
平成３０年４月１日
編集/やいた応援かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書広報課
電　話：0287-43-3764
ファクス：0287-43-2292
Eメール：yaita@city.yaita.tochigi.jp

仕事のことならハローワーク矢板!!

人口減少により働き手が減っていく中、一人でも多くの方に働いてもらうための環境整備や就業促進、働き方改革などが話題になっています。求人や求職する人に一番身近なハローワーク矢板の所長・加藤久美子さんに話を聞きました。

●ハローワークの業務内容は？

正式名称は「矢板公共職業安定所」ですが、平成二年から出会いを大切にすることを表した「ハローワーク」の愛称が使われるようになりました。

ハローワーク矢板は昭和二十二年四月開所で、管轄地域は矢板市・さくら市・塩谷町の二市一町。常勤七名、非常勤十二名が勤務しています。職員一同、就職を希望する全ての方を支援し、一人でも多くの方の就職に繋げたいと努力しているところです。

窓口では、職業相談や紹介のほか、①応募書類の作成・面接対策等に関する支援、②就職に必要な職業訓練に関する相談・支援、③新規学校卒業者・若年者の就職に関する支援、④特に配慮が必要な方の職業相談・支援などを行っています。

矢板地区の方は、通勤圏内の宇都宮や大田原方面に就職されることが多い現状ですが、ぜひ矢板市内の企業にも目を向けていただきたいです。

●求人や求職の傾向は？

今年一月時点での有効求人倍率は、全国一・五九倍、栃木労働局一・四一倍、矢板所一・四七倍と、求人数は増えています。

求人希望の職種別では、接客・調理・介護員などのサービス職の求人が一番多く、技能工・製造工、建設職の順となっています。人手不足と言われている職業の求人が増加する傾向が強くなっています。

また、求職希望の多い職種は、事務的職業や生産工程の職業などですが、事務職の求人は就職希望者の三割弱しかありません。

●求人が多くなる時期や、最近の求人・求職について気付くことは？

求人は、年間を通して大きく変動することはありませんが、人手不足を反映して介護職や製造職の求人が増えています。

求職者は三～五月がもっとも多く、在職中で転職先を探される方の割合も高くなります。

●高齢者の就業状況はどうですか？高齢を理由に断られることはありますか？

日光や那須塩原などの観光地では、旅館・ホテルでサービス職として働く高齢者は多いですし、矢板・塩谷地区でも、最近は農産物の生産・出荷作業等で働く高齢者が増えています。地域の産業によって働く職種もさまざまです。

労働者の募集・採用にあたっては、年齢制限を設けることはできません。

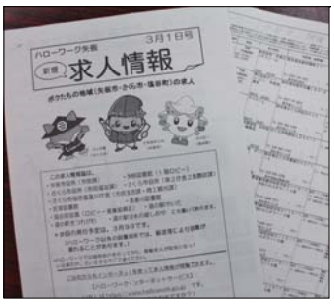
ハローワーク矢板所内のようす

●ハローワーク矢板に来る方へのアドバイスは…

まず最初に窓口に行き、相談しましょう。窓口でご希望に合った求人をお探しすることはもちろん、求人票以外の情報や就職に関するいろいろな支援メニューも用意しています。

●窓口以外でも求人情報を知ることはできますか？

インターネットを通じて求人情報を捜すことができる「ハローワークインターネットサービス」があります。また、無料の「求人情報誌」も提供しています。この冊子は、毎月一・十一・二十一日に約六〇〇部発行しており、ハローワーク矢板以外にも、市内では市役所の市民課窓口、図書館、道の駅やいたに配置しています。ハローワーク矢板では玄関ドア外のラックに置いてあるので、休日でも手に取っていただけます。



身近な求人が掲載された「求人情報誌」

（取材雑感）

随分昔の話ですが、四十年くらい前の職安（現在のハローワーク）の頃よりも、さらに親切で丁寧な印象を受けました。IT機器の発達もあり、必要な情報が即印刷されて手元に届くのもありがたいです。ハローワークに行く方の事情はそれぞれかと思いますが、その方が選んだ新しい職場や職種がよりよい生活につながりますようにと願った取材でした。

（M・K）